

授業科目	健康科学概論 ／ Introduction to Health Science				
教員名	林 優子				
単位数	2	時間数	30	学年	1
開講期	2011年度 前期	開講曜日	水曜2限（10:40～12:10）		
科目区分	必修	授業形態	講義		
目的と目標	人間の健康やいのちを、成長発達段階、健康レベル、ライフスタイルなどさまざまな視点から捉え、人間の健康とは何か、いのちとは何かについて学ぶことを目的とする。 1. クオリティ・オブ・ライフ、ライフスタイル、ストレス、ヘルスプロモーションなどの基本的概念と健康との関係について学ぶ。 2. 健康科学についての最新の話題を取り上げ、多面的な視点から健康について考える。 3. いのちを生きる意味について考える。				
評価方法	出席状況とレポートにより総合的に評価する。				
教科書	特に指定しない。資料を配布する。				
参考書等	適宜紹介する。				
事前準備受講要件等	受講途中で退席する場合、やむを得ない理由を除いて欠席とみなします。				
オフィスアワー	－				
回	学習課題	内容並びに方法			担当教員
1	医療がめざすクオリティ・オブ・ライフ	クオリティ・オブ・ライフの概念と、医療がめざすクオリティ・オブ・ライフについて理解する。			担当者
2	ライフスタイルと健康	生活習慣が人間の健康に及ぼす影響について、生活習慣病の視点から理解する。			担当者
3	ストレスと健康	心身のストレスが人間の健康に及ぼす影響について理解する。			担当者
4	病気や障がいのある子どもと家族の健康	病気や障がいのある子どもと子どもを支える家族の生き方について考える。			担当者
5	いのちとスピリチュアリティ： あなたのこころ色は、いのち色していますか	国内外での音楽活動や音楽療法を通して、いのちをみつめる。（ハーブ演奏を交えて）			担当者
6	老いを生きる	健やかな老いの生き方について考える。			担当者
7	こころの病を生きる	こころの病をもつ人の心を理解し、こころの病を持つ人の生きる意味を考える。			担当者
8	がんを生きる	がん患者のこころの動きを理解し、がん患者の生きる意味を考える。			担当者
9	与えられたいのちを生きる	いのちの誕生から生きることを意味を考える。			担当者
10	いのちの最期を生きる	いのちの最期をどこで、どのように過ごすか、終末期における生き方について考える。			林
11	人工臓器や他者の臓器と共に生きる	人工臓器に依存して生きる人や、他者の臓器提供を受けて生きる人のいのちを考える。			林
12	ヘルスプロモーション	健康促進に向けた健康戦略や社会的取り組みについて理解する。			担当者
13	いのちとスピリチュアリティ： こころ色、いのち色、生きて、あるがままに	国内外での音楽活動や音楽療法を通して、いのちをみつめる。（ハーブ演奏を交えて）			担当者
14	いのちとスピリチュアリティ： みんな、地球に生きるひと	同上			担当者
15	まとめ	上記の学習課題から関心のあるテーマを取り上げ、人間の健康やいのちについて考える。			林